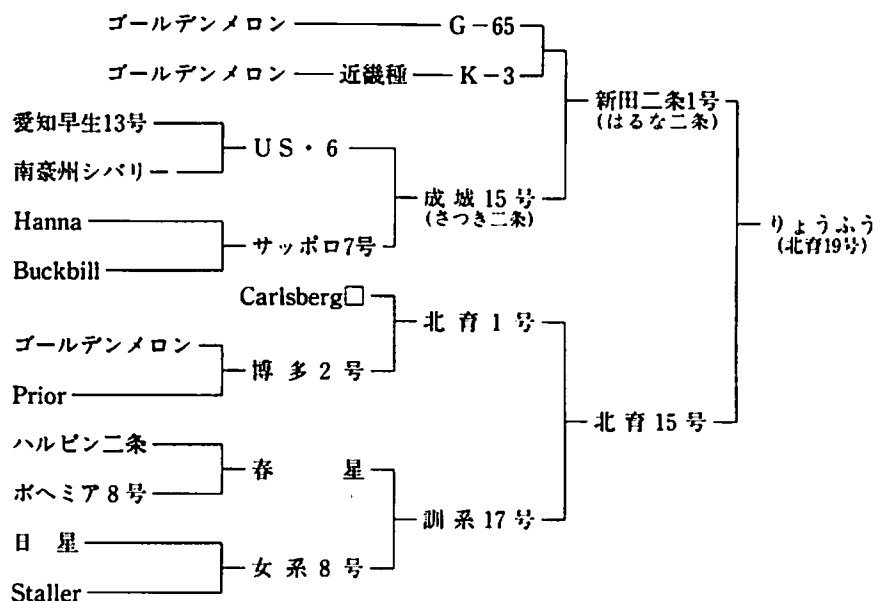


## 2. 大 麦

- (1) りょうふう (系統名 北育19号) 1989年  
 登録番号：(北海道) 大麦北海道春第4号  
 (種苗法) 第2154号

**来歴** 本品種は、1976年北海道立北見農業試験場において、「新田二条1号」を母、「北育15号」を父として人工交配を行いその雑種後代から育成したもので、1979年より「北系54138」、1983年から「北育19号」の系統名で各種の試験を行い、1989年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



### 特性概要

1. 株は閉じており、葉色は「ほしまさり」よりやや淡く、稈長は「ほしまさり」より短く、穂長は「ほしまさり」と同等であるが、穂数は多く、一穂粒数はやや少ない。
2. 穂型は矢羽根型、穂の抽出度は「ほしまさり」より少なく、穂には長芒があり、ふの色は淡黄である。
3. 粒形はやや長、粒の大小は「ほしまさり」よりやや小さく、穀皮の厚さはやや薄い。千粒重は「ほしまさり」よりやや軽く、リットル重もやや軽く、原麦粒の品質は中の中である。
4. 中生種に属し、出穂期・成熟期は「ほしまさり」より3日程度遅く、耐倒伏性は「ほしまさり」より強い。雲形病抵抗性は「ほしまさり」と同等で、網斑病抵抗性は「ほしまさり」よりやや弱い。
5. 子実重と整粒歩合はともに「ほしまさり」と同等である。

6. 麦芽エキスとエキス収量とも「ほしまさり」より多く、麦芽粗蛋白質含有量は「ほしまさり」よりやや少ない。可溶性窒素含量は「ほしまさり」よりやや多く、コールバツハ数はやや大きい。全窒素当りジアスターゼ力は「ほしまさり」と同等で、最終発酵度は「ほしまさり」より多く、麦芽品質総合評点は「ほしまさり」より優れている。

### 栽培適地と奨励態度

北海道の二条大麦(子実用)の作付け地帯の「ほしまさり」と全面的に置き替えて栽培し、当該地帯の二条大麦の安定生産と品質の向上を図る。栽培上の注意は、種子消毒は従来品種と同様に行い、早期播種を励行し、耐倒伏性は従来品種より強いが、倒伏により品質の低下を招くので窒素増肥を避ける。また、干ばつの条件下では減収することがあるので、干ばつの起きやすい圃場での作付けには注意する。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当り		子実		試験年次
				穂長 (cm)	穂数 (本)	一穂 粒数	子実重 (kg)	同左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)	
北見農試	りょうふう	7.11	8.12	93	580	21.5	396	100	642	43.2	1983~1988
	ほしまさり	7.8	8.9	102	519	22.5	396	100	659	45.3	
センター	りょうふう	7.2	7.31	66	506	-	389	102	697	49.5	1983~1988
	ほしまさり	6.29	7.28	77	494	-	381	100	701	51.0	

注 1) 試験成績はいずれも標準施肥区。穂数は㎡当たりで示し、以下同様である。

2) センターは北海道立植物遺伝資源センターである。

参照 1) 北海道農務部編, 平成元年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-10(1989)。

2) 佐藤和広 等, 北海道立農試集, 60,31-43(1990)。

### 3. 小麦

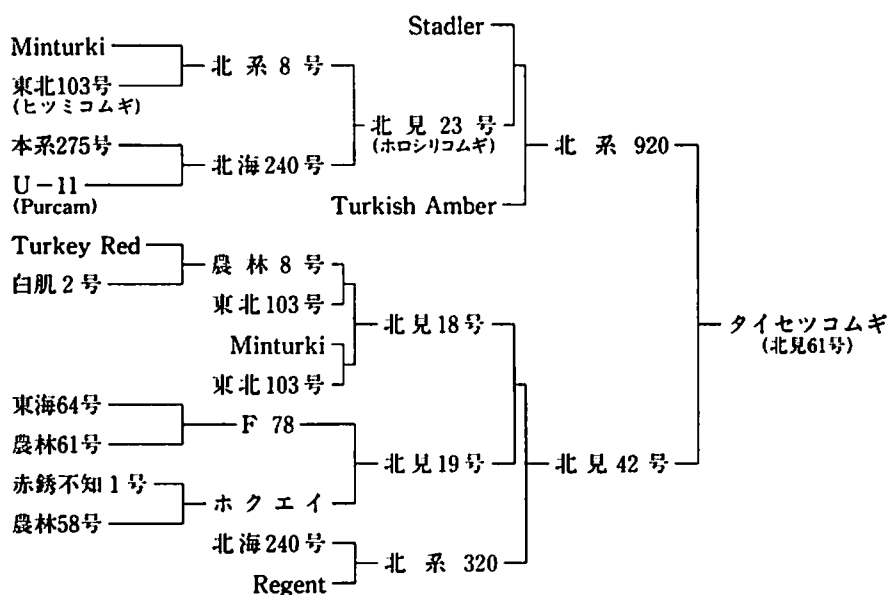
(1) タイセツコムギ (系統名 北見61号) 1990年

登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第11号

(農水省) 小麦農林136号

(種苗法) 第3107号

来歴 本品種は、1979年に北海道立北見農業試験場において、「北系920」を母、「北見42号」(チホクコムギ)を父として人工交配を行い育成したもので、1983年より「北系1362」、1985年からは「北見61号」の系統名で各種の試験を行い、1990年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



#### 特性概要

1. 叢生は直立で、穂長はやや短、穂径は中で「チホクコムギ」並で、ワックスの多少は中である。穂型は棒状、穂長は「ホロシリコムギ」と同じ中で芒はなく、ふ色は黄白である。
2. 粒着は密で、粒形は中、粒の大小はやや大、粒色は黄褐色であり、千粒重はやや大で、リットル重は「チホクコムギ」より大きく、原麦粒のみかけの品質は「チホクコムギ」や「ホロシリコムギ」と同等である。
3. 中生種に属するが、「チホクコムギ」に比較して出穂期で1日早く、成熟期は1日程度遅い。

4. 耐倒伏性やや劣り、耐寒性は「ホロシリコムギ」と同等、耐雪性は「ホロシリコムギ」より弱く、「チホクコムギ」より強い。赤さび病抵抗性は極強、赤かび病抵抗性はやや弱、うどんこ病に対しては「ホロシリコムギ」並で、「チホクコムギ」より強い。黒目粒は少、穂発芽性は「チホクコムギ」より優り、「ホロシリコムギ」と同等かやや優る。
5. 収量は「チホクコムギ」よりやや多収である。
6. 製粉歩留、ミリングスコアともに「ホロシリコムギ」や「チホクコムギ」よりやや優れ、粉色は「チホクコムギ」並で、粒質は粉状質、蛋白含量は「チホクコムギ」よりやや優る。

ギ」並で、ファリノグラム特性は「チホクコムギ」に類似し、製めん適性は「チホクコムギ」よりやや優る。  
栽培適地と奨励態度  
道央・道北の上川支庁管内の雪腐病の危険が比較的少

なく、本品種の特徴が十分に発揮できる地域の製めん適性の劣る「ホロシリコムギ」と、収量・品質が不安定な「チホクコムギ」に置き替えて栽培し、当該地域の秋まき小麦の安定生産と品質の向上を図る。

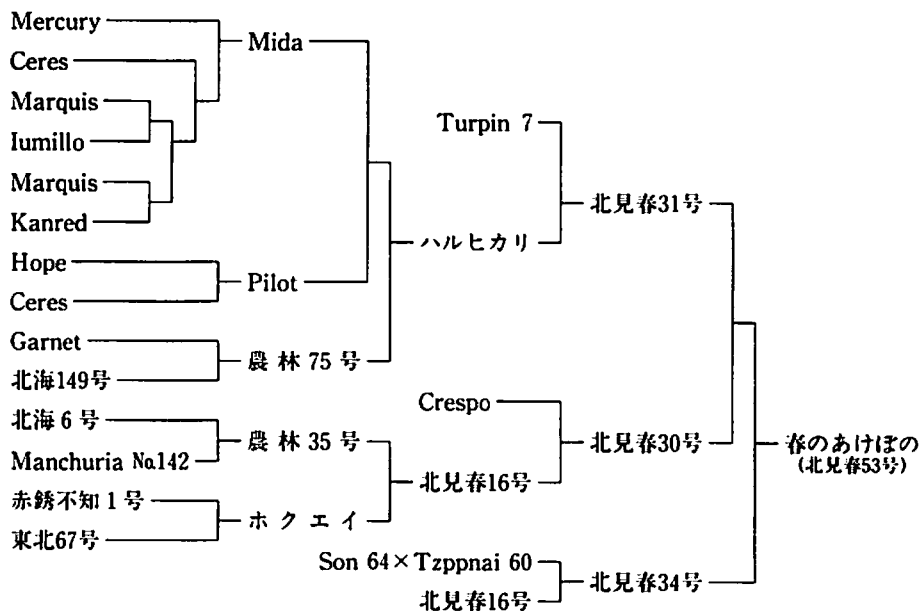
試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当り		子 実		試験年次
				穂長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	子実重 (kg)	同左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)	
北見農試	タイセツコムギ	6.17	8.2	96	9.0	762	681	105	788	37.5	1985~1988
	チホクコムギ	6.18	8.1	99	7.6	808	646	100	764	36.7	
	ホロシリコムギ	6.17	8.3	104	8.3	639	638	99	784	44.2	
上川農試	タイセツコムギ	6.21	7.27	83.9	8.9	449	452	109	788	41.4	1985~1988
	チホクコムギ	6.21	7.27	81.3	7.0	436	413	100	767	39.9	
	ホロシリコムギ	6.20	7.27	92.0	8.2	403	389	94	777	46.9	

注) 試験成績はいずれも標準施肥区

参照 1) 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-14(1990)。

(2) 春のあけぼの(系統名 北見春53号) 1993年  
登録番号: (北海道) 小麦北海道春第12号  
(農水省) 春播小麦農林139号  
(種苗法) 第4417号

来歴 本品種は、1980年に北海道立北見農業試験場において、「北見春31号×北見春30号」を母とし、「北見春34号」を父として人工交配を行い育成したもので、1986年に「北系575」、1989年より「北見春53号」の系統名で各種の試験を行い、1993年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 葉色はやや濃く、株は閉じている。葉鞘や稈にはワックスおよび毛は無く、穂長はやや短、穂長は中、穂の細太はやや細く、穂の剛柔はやや剛に属する。
2. 穂型は紡錘状で、粒着はやや密、芒は多くて長く、ふ色は黄色である。
3. 粒形は中、粒大は大、粒色は赤褐色である。千粒重

- およぼりットル重は「ハルユタカ」より大きく大に属し、原麦粒のみかけの品質は上の中である。
4. 出穂期は「ハルユタカ」と同程度であるが、成熟期はやや晩に属し、黒目粒の発生は極少、穂発芽性は難である。
5. 耐倒伏性は強、赤かび病抵抗性は中、うどんこ病抵抗性はやや強、赤さび病抵抗性は強である。

- 6. 子実収量は「ハルユタカ」よりやや少なく、やや多である。
- 7. 粒は硬く、粒質は硝子質で、蛋白含有率はやや多であり、製粉歩留は中、ミリングスコアは高く、製粉適性は良好である。
- 8. エキステンソグラムの生地の力の程度は大、伸長度や形状係数は中、伸長抵抗性は「ハルユタカ」より強く、グルテンの質も良好で、製パン適性は「ハルユタカ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

道央中部・北部及び道北地域の製粉用（主にパン用）の「ハルユタカ」の一部に替えて栽培し、品質の安定化を図る。栽培上の注意は、ドリル播栽培とし、多肥による増収や高蛋白化の効果は小さいので標準施肥量を遵守し、晩播では減収のみならず千粒重の低下も見られるので、融雪後出来るだけ早く播種し、成熟期を早め収量の安定化をはかる。穂発芽性は難であるが、刈り遅れによる品質の劣化が懸念されるので、製パン適性の低下を防止するため適期収穫を励行し、品質の安定化を図るため集団的栽培による一元集荷に努める。

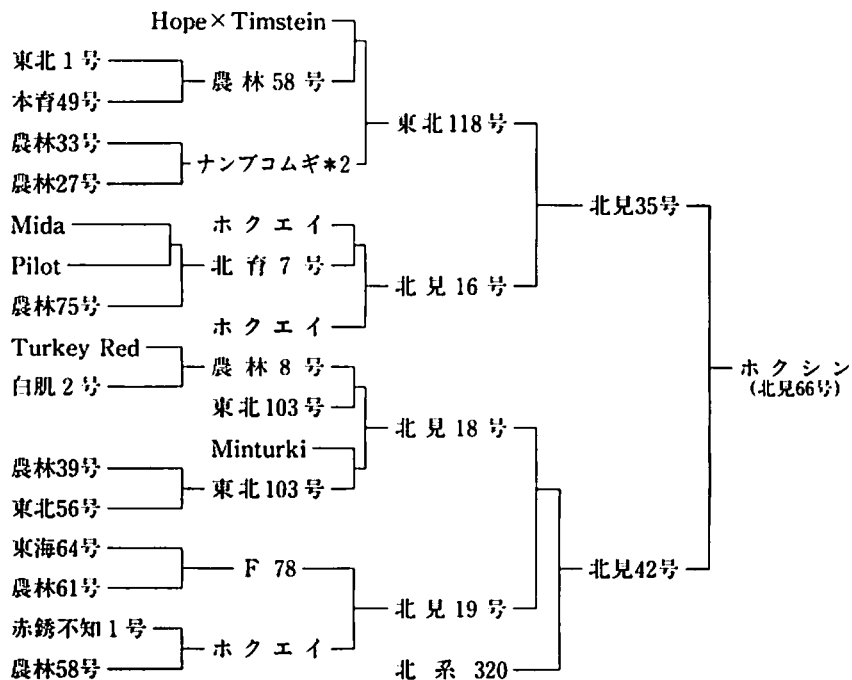
試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当り		子 実		試験年次
				稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本)	子実重 (kg)	同左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)	
中 央 農 試	春のあけぼの	6.26	8.10	81	8.0	488	333	103	784	40.4	1989~1993
	ハルユタカ	6.26	8.6	81	8.2	506	323	100	763	38.7	
	ハルヒカリ	6.26	8.6	103	8.2	478	271	84	778	38.1	
上 川 農 試	春のあけぼの	6.27	8.4	86	7.3	434	423	102	794	38.6	1989~1990 1992
	ハルユタカ	6.27	8.3	83	7.4	417	416	100	777	37.3	
	ハルヒカリ	6.27	8.1	107	7.6	409	333	80	786	37.5	

注) 栽培条件：北見農試はドリル標肥，中央と上川農試は条播標肥である。

参照 1) 北海道農政部編，平成5年普及奨励ならびに指導参考事項，10-15(1993)。

(3) ホクシン (系統名 北見66号) 1994年  
登録番号：(北海道)小麦北海道秋第13号  
(農水省)小麦農林142号  
(種苗法)出願中

来歴 本品種は、1979年に北海道立北見農業試験場において、「北見35号」を母とし、「北見42号」(チホクコムギ)を父として人工交配を行い育成したもので、1985年より「北系1538」、1989年から「北見66号」の系統名で各種の試験を行い、1994年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



**特性概要**

1. 叢生は直立で株は閉じており、稈長はやや短、稈の太さはやや太、稈のワックスは少である。穂型は棒状、粒着は密、芒は無く、ふ色は淡黄色である。
2. 粒形は中、粒の大小はやや大、粒色は黄褐色であり、千粒重はやや大、リットル重は中、原麦粒のみかけの品質は「チホクコムギ」や「ホロシリコムギ」と同等である。
3. 出穂期や成熟期は「チホクコムギ」より5～4日早い。
4. 耐倒伏性は強く、耐寒性は「ホロシリコムギ」や「チホクコムギ」と同等、耐雪性は「ホロシリコムギ」並に強く、赤さび病抵抗性は強、うどんこ病抵抗性は「ホロシリコムギ」並、赤かび病抵抗性は「チホクコムギ」よりやや強い。黒目粒の発生は少、穂発芽性は中で「チ

ホクコムギ」より優る。

5. 子実収量は「チホクコムギ」並である。
6. 製粉歩留やミリングスコアは「チホクコムギ」よりやや優れ、粉色は「チホクコムギ」並、粒質は粉状質で、蛋白含量は「チホクコムギ」並の少である。アミログラムの最高粘度は「チホクコムギ」より高く、製めん適性は「チホクコムギ」並に優れる。

**栽培適地と奨励態度**

全道の「チホクコムギ」の一部に置き替えて普及し、北海道の小麦生産の安定化を図る。栽培上の注意は、耐倒伏性は「チホクコムギ」並であるが十分と言えないので施肥管理に気をつけ、耐穂発芽性は「チホクコムギ」より強いが抵抗性は中程度なので適期収穫に努める。その他の栽培管理は「チホクコムギ」の栽培上の注意(昭和56年)に準ずる。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当り		子 実		同左比 (%)	試験年次
				稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本)	子実重 (kg)	同左比 (%)	1立重 (g)	千粒重 (g)		
北見農試	ホ ク シ ン	6.11	7.26	91	8.3	831	575	101	802	36.3	103	1989～1992
	チホクコムギ	6.16	7.30	95	7.3	790	571	100	776	35.2	100	
	ホロシリコムギ	6.15	7.31	100	8.9	714	578	101	793	42.3	120	
	タクネコムギ	6. 6	7.23	97	7.7	885	530	93	810	37.9	108	
中央農試	ホ ク シ ン	6. 6	7.19	82	7.8	620	487	106	774	40.1	102	1989～1992
	チホクコムギ	6.10	7.23	83	6.9	571	461	100	734	39.2	100	
	ホロシリコムギ	6.10	7.23	93	8.3	480	468	102	748	45.4	116	
上川農試	ホ ク シ ン	6. 9	7.19	85	8.4	545	585	113	793	38.0	104	1989～1992
	チホクコムギ	6.14	7.22	90	7.4	475	515	100	749	36.6	100	
	ホロシリコムギ	6.14	7.23	97	8.8	405	487	95	777	42.8	117	
十勝農試	ホ ク シ ン	6. 6	7.16	91	7.7	722	551	108	786	38.1	106	1989～1992
	チホクコムギ	6.10	7.20	94	6.7	690	512	100	750	36.0	100	
	ホロシリコムギ	6.11	7.24	100	8.3	627	562	110	756	43.5	121	

注) 畦幅30cm, その他は標準栽培法による。

参照 1) 北海道農政部編, 平成6年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-4(1994)。

**4. え ん 麦**

(1) ヒダカ(系統名 北海47号) 1990年

登録番号: (北海道) えん麦北海道第6号  
(農水省) えん麦農林7号  
(種苗法) 第3106号

来歴 本品種は、1980年に農林水産省北海道農業試験場にて、「本系776号」×「Flamande Desprez」のF1を母に、「本系434号」×「Sang」(F1)を父として交配し、

以後系統育種法により育成したもので、1985年より「札系16号」、1987年から「北海47号」の系統名で各種の試験を行い、1990年に優良品種となった。

**特性概要**

1. 叢生は直立、株の開閉は「オホーツク」より開き中で、葉色は濃緑である。
2. 稈長は中、茎は太く、稈のワックスは極少なく、穂数は少、穂長は中、小穂数は多である。

3. 穂型は散穂で粒着は密、芒は極少、ふ色は淡黄色、粒大は中、千粒重は中で、リットル重は「オホーツク」より軽い。
4. 出穂期は「オホーツク」より4～5日早く、成熟期も2～4日早い中生種である。
5. 耐倒伏性は強、冠さび病抵抗性は「オホーツク」並の弱である。
6. 子実収量は「オホーツク」や「前進」より多収である。

7. 子実のふ率は中で、家畜のし好性は「オホーツク」や「前進」と差がない。

**栽培適地と奨励態度**

全道一円の「オホーツク」や「前進」の大部分と置き替えて栽培し、えん麦の生産力の向上と安定化を図る。栽培上の注意は、冠さび病は「オホーツク」や「前進」並で強くないので、栽培に当たっては留意し、耐倒伏性が強いいため、「前進」よりやや多めの施肥で多収が期待できる。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期の		倒伏 程度	10a 当り			稈率 (%)	試験年次
				稈長 (cm)	穂数 (本)		稈重 (kg)	子実重 (kg)	同左比 (%)		
北海道農試	ヒダカ	7. 3	8. 8	98	363	無	571	594	114	28.7	1987～1989
	オホーツク	7. 8	8.13	112	360	少	603	521	100	29.0	
	前進	7. 6	8.10	112	404	中	577	521	100	33.9	

注 1) 畦幅30cm, 播種量: 340粒/m<sup>2</sup>, その他は標準栽培法による。  
2) 穂数はm<sup>2</sup>当りの値である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17(1990)。

(2) **アキワセ** (系統名 北海44号) 1990年  
登録番号: (北海道) えん麦北海道第7号  
(農水省) えん麦農林6号  
(種苗法) 第2334号

**来歴** 本品種は、1978年に農林水産省北海道農業試験場において、「本系712号」を母とし、「Paramo」を父として人工交配を行い育成したもので、1983年より「本系989号」、1985年からは「北海44号」の系統名で各種の試験を行い、1989年に暖地及び温暖地の晩夏播用として農林登録され、1990年に北海道の優良品種となった。

**特性概要**

1. 叢生は直立型で株は閉じており、葉は濃緑色、葉身は短く、葉幅は狭く、葉身の下垂度は小さい。
2. 稈長と穂長は短、穂数は中、茎は「オホーツク」より細く、小穂数は少、穂形は散穂である。

3. 粒着は中で、芒は極少、ふ色は淡黄色、粒形は中、粒の大小は大である。
4. 出穂期は「ウェスト」並かやや遅く、成熟期は10日早い極早生種である。
5. 耐倒伏性で、冠さび病に弱く、乾物収量は6月一斉刈り取りや極早生品種の出穂期刈り取りでは多収である。
6. 早生で穂数が少なく、草姿が立型のため牧草との同伴適性が優れる。

**栽培適地と奨励態度**

全道一円、オーチャードなどの同伴栽培に利用し、飼料の生産性の向上を図る。栽培上の注意は、牧草との同伴栽培では、えん麦の播種量増やえん麦の生育期間の延長は牧草の収量減や翌春の牧草を抑制するので注意する。

試験場名	品種名	一 斉 刈 り					出 穂 刈 り				試験年次
		刈取日 (月日)	生育 時期	乾収量 (kg)	収量比 (%)		刈取日 (月日)	乾収量 (kg)	収量比 (%)		
					ウエスト	前 進			前 進	ウエスト	
北海道農試	アキワセ	6.26	出穂期	337	114	122	6.26	333	64	117	1985～1989
	ウエスト	6.26	出穂期	296	100	107	6.26	284	55	100	
	前進	6.26	7葉期	277	94	100	7. 8	517	100	182	
	アーリークイーン	6.26	出穂期	276	93	100	6.26	256	50	90	
	アキユタカ	6.26	止葉期	333	113	120	7. 2	457	88	161	

注) 収量は10a 当りで示す。

参照 1) 北海道農政部編, 平成2年普及奨励ならびに指導参考事項, 45-47(1990)。